

会 議 録

会 議 名 (審 議 会 等 名)		令和2年度 川西市社会福祉審議会(第1回)	
事 務 局 (担 当 課)		福祉部 地域福祉課	
開催日時		書面決議	
開催場所			
出席者	委 員	明石委員 平尾委員 小田委員 中山委員 江見委員 安田委員 松尾委員 岡委員 藤末委員 藤木委員 酒井委員 足立委員 古谷委員 森寺委員 下西委員 田村委員 前田委員 山元委員	
	その 他		
	事 務 局	福祉部長 山元 福祉部副部長 山本 こども支援課長 村山 こども・若者ステーション所長 木山 障害福祉課長 斎藤 介護保険課長 福丸 健幸政策課長 坂上 地域福祉課課長 上西	
傍聴の可否			傍聴 者数
傍聴の不可・一部 不可の場合は、そ の理由		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面決議とした。	
会 議 次 第		1. 福祉関連計画に係る進捗状況について	
会 議 結 果		別紙のとおり	

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
1	共通		ご意見 資料の多くに見られる「自己評価」(ABCD)と、「評価指数」との関連が分かりにくい。	「自己評価」は、計画の各項目に対する担当所管課の進捗状況評価となっています。「評価指標」は、計画の各項目と関連付けられる各種アンケート、調査の結果であり、市民など客観的な視点が入ります。	地域福祉課
2	共通		ご質問 各事業の自己評価(ABCD)について、外部視点を加味する事への考え方は？	評価方法の在り方については、今後審議会のご意見もいただきながら検討してまいります。	地域福祉課
3	共通		ご意見 会議資料(資料1~7)は、第5期川西市地域福祉計画、5か年計画R1現状値が明確に示されていると思ひ、関係各位のご努力に敬意を表します。更に、R4目標値に向かい、全員での頑張りを期待したいものです。		地域福祉課
4	共通		ご意見 新型コロナウイルス感染症の影響により、各計画の主要事業等で見直しや変更点があれば、一覧表等で示してほしい。	今回の評価については、平成31(令和元)年度末近くの事業について一部のみ新型コロナウイルスの影響が出ています。次年度の評価において、大きな影響がある場合は、表記方法について検討してまいります。	地域福祉課
5	共通		ご意見 各計画の資料の作り方に統一性がない。共通のフォーマットに落とし込み、参考資料を添付されたらどうか(進捗状況の総括、問題点、課題、成果など)。	各計画について、章立てなど異なる部分が多く、それぞれ別々の様式となってしまいました。今後、評価資料について共通のフォーマットの作成が可能か検討してまいります。	地域福祉課
6	共通		ご意見 平成31年度と令和元年度の両方の表記がみられる。統一を。	ご指摘のとおり改めてまいります。	地域福祉課
7	共通		ご意見 計画により進捗状況自己評価基準(ABCDの内容など)が微妙に異なっている。将来的に統一した方がよいのではないか。	自己評価基準について、統一した内容に出来ないか検討してまいります。	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
8	共通		<p>ご意見 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるためには、医療・介護・住まいなどの「地域包括ケアシステム」の構築等、地域社会における福祉の充実が生活の質を左右するといっても過言ではありません。 高齢化の進む中で、これらの福祉対策には”在野の社会資源”の活用がより必要になると考えます。 例えば、介護予防事業などには、地域の福祉関係組織や団体との連携は当然のことですが、組織には属していないが、時間と知恵を持った元気な高齢者は無視できぬ存在です。これら健康で活動を希望する高齢者の活用が、福祉サービスの質・量の確保につながり、人と人との絆から、ひいては地域づくりに繋がっていくのではと考えます。高齢者自身にとっても、生き甲斐や健康づくりに繋がり、これからの高齢社会を乗り切るための資源の一つとして、その役割が期待される時代になったと思います。人材活用のシステム化に対する取り組みを依頼します。</p>	<p>福祉人材の確保については、どの計画においても喫緊の課題と言えます。市関係各課及び関係諸団体と連携しながら、福祉人材確保の方法について検討してまいります。</p>	地域福祉課
9	1		<p>ご意見 地域福祉は特に数値だけで評価できるものでなく、プロセスの中に重要な要素を含む取組みもあるかと思えますので、その辺りの評価も反映できるような評価方法や記載方法が必要ではないかと感じました。</p>	<p>評価方法の在り方については、今後審議会のご意見もいただきながら検討してまいります。</p>	地域福祉課
10	1		<p>ご質問 自己評価を実施した母体は担当部署ですか？</p>	<p>お見込みのとおりです。</p>	地域福祉課
11	1	<p>(1) ボランティア活動センター登録者数、福祉ボランティア登録者数 (3) ・生活保護受給者のうち、就労支援により就労した人数（就労支援活用による実稼働人数） ・ノンステップバス導入率（市内運行バス台数に係る導入率）</p>	<p>ご質問 現状値がすでに目標値を超えている項目があるが、目標値の見直しはされないのか。</p>	<p>計画策定当初の目標値については、見直しは行いません。しかしながら、目標値は超えてもさらに高みを目指し、前年度比増に向けて対応してまいります。</p>	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
12	1	(1) 市民主体の「福祉デザインひろば」づくり《評価指数》	ご意見 ボランティアやNPO(共通のやりたいことのために機能を高めた団体)などの活動に参加している市民の割合(市民実感調査より)の現状値(R1)9.3%を、目標値30.0%に出来るだけ近づくことを期待したい。	福祉人材の確保については、どの計画においても喫緊の課題と言えます。市関係各課及び関係諸団体と連携しながら、福祉人材確保の方法について検討してまいります。	地域福祉課
13	1	(1) 市民主体の「福祉デザインひろば」づくり《評価指数》	ご意見 福祉ボランティアに参加したことのある市民の割合は、H28計画策定時からの過去3年間と同様の進捗であればR4目標値に対して非常に厳しい状況値に見えます。(川西市人口6月1日付152,958人に対して、目標差6.2%は9,483人)しかし、福祉ボランティア登録者数はR4目標値が低いのではないのでしょうか。もちろん福祉ボランティア登録者数によってのみ、参加者数が増加するわけではないのは承知しております。地域における福祉力の育成を推進することで、市民が主体となり活躍できる「福祉デザインひろば」づくりを進めるのであれば、一旦登録者数に拘って進めてみるのも良いと思います。地域福祉を支える人のつながりのひとつの形と言えるのではないのでしょうか。	福祉人材の確保については、どの計画においても喫緊の課題と言えます。市関係各課及び関係諸団体と連携しながら、福祉人材確保の方法について検討してまいります。	地域福祉課
14	1	(1) 市民主体の「福祉デザインひろば」づくり及び (2) 協働で推進する地域福祉の基盤づくりの《評価指数》	ご意見 川西市地域福祉計画 進捗状況調査報告書のまとめに(市民実感調査より)の記載が多く出てくるが(市民実感調査書)の関係部分の抜粋が添付してあると理解につながりやすい。	次回以降、市民実感調査結果についても添付資料といたします。	地域福祉課
15	1	(1) 市民主体の「福祉デザインひろば」づくり及び (2) 協働で推進する地域福祉の基盤づくり	ご質問 現状値(R1)、(R2)の数値を見る限りA評価とは言えないのでは? B評価では?	「自己評価」は、計画の各項目に対する担当所管課の進捗状況評価となっています。「評価指標」は、計画の各項目と関連付けられる各種アンケート、調査の結果であり、市民など客観的な視点が入ります。必ずしも自己評価項目と評価指標とは一致いたしません。しかしながら、自己評価と評価指標の乖離について、そこを縮める方策の検討は必要と考えております。	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
16	1	(2)協働で推進する地域福祉の基盤づくり《評価指数》	ご意見 尚、自治会やコミュニティと連携し、防災訓練や講座を実施している自主防災組織の割合(市民実感調査より)100%達成を実現は立派で、継続を期待します。		地域福祉課
17	1	(2)協働で推進する地域福祉の基盤づくり《評価指数》	ご意見 「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合(市民実感調査より)の現状値(R1)39.1%が、目標値67.0%を目指し「子育てがしやすいまちだ」と市民に思わせたい。		地域福祉課
18	1及び2	自己評価集計について	ご質問 自己評価件数が記載されているが、項目ごとに件数が違うのはなぜか。誰が自己評価をする対象となっているのか。	計画の各基本目標における施策項目の数が異なるため、項目ごとに件数が異なってきます。自己評価を行うのは、施策項目の担当所管課です。	地域福祉課
19	1及び2	自己評価集計について	ご意見 どのような取り組みを実施した結果の評価であるのかが分からないので、具体的な記載がある方が分かりやすいのではないのでしょうか。	今回については地域福祉計画進捗状況調査票の添付を割愛いたしました都合上、委員の皆様には返って分かりづらくなってしまいました。次回以降資料としての添付を検討いたします。	地域福祉課
20	2	自己評価集計について	ご質問 本計画のみ評価指標が達成度(パーセント)で示されているが、どのように数値化されているのか。	各担当所管課における事業の達成度を記載しています。	地域福祉課
21	2		ご質問 基本施策1,2と3は調査母体が違いますね。3はどこだったのでしょうか。	調査母体はいずれも事業担当所管課です。	地域福祉課
22	2		ご意見 難しい問題ですね。これらの施策をこつこつと実践していくしかないですね。		地域福祉課
23	2	基本政策2 生き心地のよいまちづくりを支える人材の育成	ご質問 人材育成の具体的な取り組みについて、教えて下さい。	市職員に対する人材育成講座と一般市民に対する人材育成講座を実施しました。今後も継続していく予定です。	地域福祉課
24	2	基本施策3 生き心地のよいまちづくりをめざして	ご質問 自己評価での達成度が低くなっている項目について、今後どのような取り組みを実施する予定なのか?また、なぜ達成感が低くなっているのか?	自己評価の低い項目につきましては、主に自殺対策にかかる市役所内や地域でのネットワーク構築、また、年度末に計画していた事業がコロナウイルス感染拡大により中止となり実施が出来なかったことによるものです。ネットワーク構築につきましては、自殺対策に対する周知・啓発とも並行して進めてまいります。	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
25	3	(1) 交流活動拠点の充実 老人クラブ活動の活性化 地域活動・サークル活動の 充実と参加の促進	ご意見 、 、 については設備の提供はできているの だから、担当部署の周知・啓発活動の一層の努力が望まれます。 その基礎は、地域コミュニティの充実のように思う。	広報紙やホームページ等様々な媒体を通じて、事業の周知・ 啓発に努めるとともに、関係所管課及び関係諸団体と連携し ながら、事業の充実に努めてまいります。	地域福祉課
26	3	(1) 高齢者祝福事業	ご意見 自動的に祝っていただける場合は100歳人口の 増加とともに増加しているが、自発的な申し込み等による場 合は積極的な参加が減っているようです。公開の場で祝って もらうことを望んでないのではと推察されます。	金婚式・ダイヤモンド婚式につきましては、その事業の在り 方も含め検討してまいります。	地域福祉課
27	3	(1) 高齢者貸農園事業 ふれあい入浴事業	ご意見 、 とともに利用を望む高齢者は多い。利用でき ない人の不満を聞きます。公平な執行が望まれます。	不公平感を持たれることのないよう適切な事業実施に努めて まいります。	地域福祉課
28	3	(2) 生涯学習の充実と生涯 スポーツの振興	ご意見 高齢者の意識は高い。設備や体制は整っており担 当部署の周知・啓発活動の一層の努力が望まれます。	広報紙やホームページ等様々な媒体を通じて、事業の周知・ 啓発に努めてまいります。	地域福祉課
29	3	(2)・ 学習機会の充実	ご質問 高度な学習システムとして評価の高い高齢者大学 (レフネック) 終了者の社会還元についての考え方。(従来 から社会資源として活用が必要との声がある)	自己啓発に留まらず、地域参画やボランティア活動など社会 貢献として地域社会の活性化に寄与できるよう、あるいは きっかけとなるような講座を選定してまいります。	社会教育
30	3	(3) 就労の支援	ご意見 高齢者の就労希望者は単に余暇の利用、健康づく り、生きがいでだけでなく、生活のために働かざるを得ない方 も多い。重要な活動と考えます。	ハローワークとの連携や生活困窮者自立支援制度の活用な ど、ニーズに合わせた支援を行ってまいります。	地域福祉課
31	3	(4) 住環境の整備と確保	ご意見 予算処置が前提であり担当部署の努力の方向は議 会にあると思う。ただ、 養護老人ホームに入所者の余裕が ある事態は珍しいことです。担当部署のきめ細かい努力を求 めます。	必要とされる方がタイムリーに入所できるよう随時ご相談に 応じてまいります。	地域福祉課
32	3	(5) 福祉・生活支援サービ スの充実 日常生活用具給付等事業 訪問理容サービス事業 高齢者外出支援サービ ス事業	ご意見 、 については公平な執行にも問題があり廃止 は仕方ないと思う。 についても利用者の偏りを抑え公平な 執行が望まれる。その他についてはボランティア活動に頼る ことが大きく、市民の福祉に対する意識の啓蒙が望まれる。	特に についてはご要望も多く、事業の在り方について再検 討してまいります。また、市民の福祉に対する意識の啓蒙に つきましては、そのきっかけづくりの方策について関係諸団 体と連携しながら検討してまいります。	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
33	4	基本目標1 とともに支え合うことのできる地域づくり 1.共生のまちづくりの推進	ご意見 具体的に行動・行為が決められている項目(定量的な項目 (11102、11301、11302)については「できている」評価であるが、具体的でない項目(定性的な項目)は評価しにくいと思う。	定性的な項目において、適切な評価が行えるよう検討いたします。	障害福祉課
34	4	基本目標1 2.暮らしやすい生活環境の整備	ご意見 予算措置を含むものであり担当部署の努力には限界がある。働きかける方向や、方法について議論の余地がある。	予算措置の必要な項目については、各所管において実施計画などを通じ、適切に予算要求されるよう働きかけてまいります。	障害福祉課
35	4-5	P12 1-(1)- 保育所等訪問支援の利用体制整備	ご質問 以前、対象が小学生までと聞いていましたが、中学生、高等部生徒まで対象拡充になりましたか？	対象は、厚生労働省令に規定された施設に通う障害児と定められており、中学校、高等学校は対象となっております。	障害福祉課
36	4-5	P12 1-(1)- 保育所等訪問支援の利用体制整備	ご意見 以前は、市内1か所だったので仕方ないと思っていましたが、現在は3か所となっていますので、拡充をお願いしたいです。	令和2年9月現在市内4カ所が開設されており、引き続き事業所の拡充に努めてまいります。	障害福祉課
37	4	基本目標2 本人の意思を尊重した社会参加の促進	ご意見 担当部署、部員の心のこもった活動が望まれる。	本人の意思を尊重した社会参加の促進に心をこめて努めてまいります。	障害福祉課
38	4	基本目標2 就労支援体制の充実	1. 1. ご意見 [21105]身体障害者だけでなく、知的・精神障害などの所用にも積極的に取り組んでいただきたく、お願いします。	昨年度設置いたしました、障がい者雇用・就労推進本部の活動を通じ、あらゆる障がい者の就労機会の拡大に取り組んでまいります。	障害福祉課
39	4	基本目標2 就労支援体制の充実	1. 1. ご質問 [21204]の評価がAとなっているが、今後の方向性としては、Cとなっているのはなぜか？	申請のあった地域生活支援センター等への補助を実施しているものの、利用者数が減少し、補助基準を満たさない者への運用など、その将来的なあり方を検討する必要があるため、今後の方向性をCといたしました。	障害福祉課
40	4	基本目標2 3.権利擁護の推進	ご質問 [23106]新規事業として「計画的な後見制度の利用促進」が、挙げられているが具体的内容についてお聞きしたい。	認知症や障害によって金銭管理等の難しい方に対し、判断能力の程度によって、日常生活自立支援事業や成年後見制度を効果的に活用し、ご本人の安全安心な暮らしを支援しております。	地域福祉課
41	4	基本目標3 安心して暮らすためのサービスの充実	ご質問 民生・児童委員の方への相談として、研修などを実施しているのでしょうか？実施している取組みがあれば是非教えていただきたいです。	民生委員児童委員協議会において部会を設置し、特に障がい者支援においては、障害部会を設置し、支援の在り方や効果的な講演・研修を検討・実施しております。	地域福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
42	4	基本目標3	ご意見 具体的に行動・行為が決められ、予算がついている項目（定量的項目）については「できている」評価ではあるが、具体的でない項目（定性的項目）は評価しにくいと思う。 予算措置の必要な項目については、働きかける方向や、方法について議論の余地がある。	定性的な項目において、適切な評価が行えるよう検討いたします。また、予算措置の必要な項目については、各所管において実施計画などを通じ、適切に予算要求されるよう働きかけてまいります。	障害福祉課
43	4	基本目標4 障がい児支援の充実	ご意見 すべての施策名が感動すべき内容です。少しずつでも具現できればうれしいですね。	障がい者プランに掲げた目標を達成できるよう努めてまいります。	障害福祉課
44	4-5	第5期障がい福祉計画の進捗状況について 1-(1)施設入所者の地域生活への移行	ご質問 地域生活に移行してやはり難しい場合は、もとの施設に戻れますか？	地域で安心して暮らすことができるよう、地域の中核的な相談支援を行う「基幹相談支援センター」の設置や地域生活支援拠点の充実など地域生活を継続するためのサービス支援体制の整備に取り組んでおります。地域生活への移行が難しくなり、もとの施設に戻るかについては、当該施設の定員状況等にもよりますが、適切なサービスを提供することで、切れ目のない支援に努めてまいります。	障害福祉課
45	4-5	1-(2)精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築	ご質問 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築のため30年度に「保健、医療、福祉関係者による協議」の場が設置されているが、会議開催の実績と長期入院患者の地域受け入れに向けた協議の内容についてお聞きしたい。	令和元年度は、会議を2回開催し、長期入院患者の地域受け入れに向けた協議を進めていくため、入院先機関に対し地域移行に関する調査をアンケート形式により実施いたしました。	障害福祉課
46	4-5	1-(3)- 就労定着支援事業による職場定着率	ご質問 就労定着支援事業による職場定着の実績が上がらないのはどこに問題があるのか。	ご指摘の事項を含め、昨年度設置いたしました、障がい者雇用・就労推進本部において、障がい者の雇用・就労に関する課題の整理や必要な施策等の検討を進めてまいります。	障害福祉課
47	4-5	第1期障がい児福祉計画の進捗状況について	ご質問 障害児相談支援の利用者は増えているが、事業所数が少ないと聞いている。増やす計画はあるのか。	昨年度に本市にて誘致を行った事業所が、今年度開所するなど、事業所整備を進めているところです。今後も引き続き市内の事業所整備に努めてまいります。	障害福祉課

令和2年度 川西市社会福祉審議会資料への意見・質問と市回答

通し	資料	項目	ご意見・ご質問	市回答	担当所管課
48	5		ご意見 介護保険事業のほぼすべての施策において、利用実績値は計画値を超えており、H31年4月～R2年3月審査データとR元年5月～R2年4月要支援のデータ（なぜか要介護の同様な資料は欠落しています）を比べると1か月で赤字幅が既に数パーセント増えています。今後の費用増が予想され頭が痛いですね。	お送りした資料に誤りがありましたので、以下の資料をもう一度お送りいたします。 ・介護保険施設等の整備状況 ・介護保険事業計画と実績の比較表（要介護） ・介護保険事業計画と実績の比較表（要支援）	介護保険課
49	6		ご意見 高齢化とともに医療費が増大する問題に対して、予防医療の一環である市民の健康づくりは大変意義のあることと思います。市民への啓蒙と周知をよろしく願います。	毎年全戸配布している、保健セタ及び予防歯科セタ事業案内「健康づくり事業のご案内」、広報誌及びホームページや健康教育等あらゆる媒体・機会を通し、引き続き啓蒙と周知に努めてまいります。	健幸政策課
50	7		ご意見 文中に（ 頁）の記載が数か所見られるが、資料末尾に〇〇資料から又は参照との記載が欲しい。	文中の（ 頁）の記載は、すべて「第2期川西市子ども・子育て計画」のもので、ご指摘のとおり修正いたします。	こども支援課
51	7		ご意見 少子化対策として「出産・子育てしやすい街」にすることは、若者が多く住み、市を活性化させると共に、その市の成熟度のバロメーターになると思います。一步、一步努力していきましょう。	子ども・子育て支援施策や待機児童対策等を総合的に推進することにより、「第2期川西市子ども・子育て計画」の評価指標である「『子育てしやすいまちだ』と思う市民の割合」向上に向け努めてまいります。	こども支援課